

ドッジボール大会の決まり

1. 順位決め（リーグ）

- ①．勝点（勝 2、引き分け 1、負け 0）
- ②．①で順位が決まらない場合は、自チーム 内野の人数合計が多いチームを上位とする。
- ③．②で順位が決まらない場合は、直接対決の勝者を上位とする。
- ④．③で順位が決まらない場合は、相手内野人数合計の少ないチームを上位とする。
- ⑤．④で順位が決定しない場合は、再試合（サドンデスゲームあり）を行い、勝者を上位とする。

（トーナメント）

引き分けの場合、サドンデスゲームを行う

※どちらかの内野がアウトになるまで、時間無制限で行う。

2. ゲームの進行

- ・センターライン集合であいさつをしてセットアップする。
同様に終了時もセンターラインに集合、挨拶。
（※ 外野には1名以上置く）
- ・5分ランニングタイムで行う。
- ・主審がタイムをかけた時のみタイマーを止める。
（選手の安全確認時）
（ボールが自コートから出て、となりのコートやギャラリーに入った時など。）

3. ルール

- ・アシストキャッチ 味方がキャッチに失敗したボールをコートに落ちる前にキャッチするとアウトになりません。
- ・内野への復帰 外野は相手内野の選手をアウトにすると内野へもどれるが、外野が一人になった時、相手内野の最後の選手をアウトにしないと内野へはもどれません。
- ・アウト 味方の一人に当たったボールが次の人に当たって落ちた場合、最初に当たった人がアウトになります。
- ・ヘッドアタック 頭部や顔面にボールが当たった時はセーフになります。
- ・外野のワンタッチ 外野の選手が手で触った後、ボールがコートの外に出た場合、最後に触った外野選手からゲームが再開します。ただし、手以外（体、足、腕など）に最後に触つ

- ・ゲームの再開 た時は相手内野からゲームを再開します。
ボールを両手で頭の上へ持ちあげ、主審の笛の合図で始める。(フライングスローの適用)
- ・内、外野への移動 相手コートに入らないように移動する。(アウトプレーの適用)

4. フェール (反則)

- ・オーバーライン ボールを持っている選手がラインを踏んだり、越えた時 (踏み足だけでなく、蹴り足の場合も同じ)
- ・ダブルパス 味方の内野同志または外野同志でパスをしてはいけない。
- ・ファイブパス 味方の内野と外野のパスは 4 回までで 5 回してはいけません。(主審がパスの回数を指で表します)
- ・キープ・フォー・ファイブ
ボールを持った選手は、5 秒以内にパス又はアタックをしなければならない。
- ・ホールディング 相手チームエリアの床に接しているボールに触れた時又は、相手チームエリアの床にボールを突いた時 (跳ね上がったボールはどちらが取って良い)
- ・ジャンパーキャッチとジャンパーアタック
ジャンパーはタップ直後のボールに触ってはいけません。相手ジャンパーをタップ直後のボールでアタック (アタックと見なされる投球も含む) をしてはいけません。